

中心市街地活性化基本計画に

ついて

津山誠心会議・改革クラブ 中島完一



質問↓中心市街地活性化協議会の

提言を受けて

津山市において

中心市街地活性化基本計画を策

定し、平成二十

二年度中の国の

認定を目指したが、国の認可を受けることができ

なかった。①なぜ、国の認定が受けられなかった

のか、その原因は。②今後の認定に向けてのスケ

ジュールは。③計画を見直す考えがあるのか。

答弁↓①国との協議で、活性化の効果がより明確と

なる事業を計画に盛り込むべきと指摘を受けてお

り、策定当初からすると、認定のハードルが上がっ

たと受け止めている。②中心市街地活性化協議会

と連携し、事業の具体化に向けて取り組んでいき

たい。③現在、関係団体等と協力しながら新たな

事業の検討も行っており、随時計画に反映したい。

質問↓中心市街地活性化基本計画の目的は、中心部

に企業の投資意欲を促すためと考える。中心部の

地価の下落に歯止めをかけることが必要で、その

政策は津山市でも十分に可能である。

産業創出と防災対策

津山誠心会議・改革クラブ 田口慎一郎



質問↓雇用に関して市長の考えは。

答弁↓雇用の安定なくして地域の真の再生はなく、企業誘致にも先頭に立ち、雇用創出や安定のため取り組みを行っていく。

質問↓新しい産業おこし・六次産業化の方向性は。

答弁↓津山らしいものになるよう、消費者も参加した「農工商連携推進計画」を策定して取り組む。農業者を核として計画し、後継者や担い手の確保、新規就農者の育成を目指す。二十四年三月に市長に答申の予定。

質問↓住民の生命・財産に直結する住宅の耐震化促進は重点対策では。

答弁↓建築物耐震診断補助制度と木造住宅耐震改修補助制度を設けている。官民一体の耐震診断等について住宅相談を開催中。七月には、建築士会津山支部により、住宅よろず相談を開催する。

質問↓防災活動の推進には、地域コミュニティの向上を核とした対策を強化すべき。

答弁↓防災活動の推進や地域の課題解決に向けては、地域住民自治協議会を各地域で構築していきたい。

公共下水道及び河川防災

新政クラブ 野村昌平



質問↓最終段階に

きている公共下水道計画の見直しは。駅前が未

整備では、都市

イメージを下げ

観光面や企業誘

致にもひびくの

ではないか。南部第一中継ポンプ場は早く解決す

べきでは。

質問↓下水道区域の見直しは、整備手法の転換による早期水洗化を目的に、検討審議会での意見答申を受け、九月にパブリックコメントを実施する。

答弁↓駅前地区にぎわいを取り戻すためにも下水道を整備することは喫緊の課題であり、ポンプ場の件は下水道審議会の答申を待ち、関係町内会と早急に話し合いをしたい。

質問↓主要河川の堤防決壊やオーバーフローのリスクと取り組みは。

答弁↓平成十年の十号台風以後、国の苦田ダム整備、県の主要河川整備及び市内の内水排除を実施。現在は皿川、宮川、広戸川の改修を県で整備中。これらの整備で、五十年に一回程度発生する洪水規模の浸水被害は解消されることとなる。